

# ソフトウェアメトリックス調査(開発調査表)2025

- ご回答頂く企業のプロフィールならびにプロジェクト名（または数字など）をご回答ください。
- ご回答は、開発回答表（Excel）にご回答ください。

貴社名	(フリガナ)	
ご所属部署・お役職		お名前
メールアドレス		
プロジェクト名（番号でも可）		
ご案内	※調査にご協力いただきました方へ、ソフトウェアメトリックス調査 2025 ガイドブックデータをメールでお送りいたします。 ※今後、JUAS のご案内（イベント、セミナー、研究報告書等のご案内）をご希望されますか。 1.希望する 2.希望しない	

## Q1. プロジェクトの特性

- 1 システム企画段階での、当該プロジェクトの最優先事項をお答えください  
1. 品質（Q） 2. コスト（C）抑制 3. 納期（D）厳守 4. ユーザー満足度 5. 優先順位をつけなかった
- 2 開発種別  
1. 新規開発 2. 再開発・改修
- 3 パッケージ（ERP 含む）、SaaS は採用しましたか、採用している場合はその主な製品名もあわせてお答えください。  
1. パッケージ（ERP 含む）（ ） 2. SaaS（ ） 3. 採用していない
- 4 プロジェクト品質を計画する際に、開発者に対して品質の目標となる基準値を提示しましたか  
1. 基準値を提示した 2. 提示しなかった
- 5 稼働後の品質評価をお答えください  
1. ほとんど欠陥はない 2. 重大な欠陥はなく、迅速な対応ができている 3. 重大な欠陥はないが、一部の欠陥については対応に時間がかかっている  
4. 一部に重大な欠陥が発生し、解決にかなりの時間と工数をかけている
- 6 欠陥数をお答えください

	フェーズ別詳細 <sup>注1</sup>	
	ユーザー総合テスト	初期フォロー
不具合件数 <sup>注2</sup> （大）		
不具合件数 <sup>注2</sup> （中）		
不具合件数 <sup>注2</sup> （小）		
不具合件数（合計）		

注1:各フェーズの内容に関しては、表1(調査票でのフェーズの呼称とSLCPとの対応表)をご参照ください。

注 2: 不具合(大) = システムにとって致命的で緊急対応が必要な障害であり、5人日以上 の負荷を要する場合

不具合(中)＝システムにとって致命的ではないが緊急対応が必要な障害(大でも小でもない障害)であり、その復旧に要する時間が中程度である

不具合(小)＝軽微で緊急対応必要がない程度の障害、その復旧に要する時間は半日以内で対応可能

パフォーマンスの不具合も含めてお答えください

- 7 要求仕様の変更発生 を以下から選択してください。
1. 変更なし      2. 軽微な変更が発生      3. 大きな変更が発生      4. 重大な変更が発生

Q2. 全体計画

1.プロジェクトの工期・工数・コスト

分類	項目	計画/実績	プロジェクト全体	フェーズ別詳細 <sup>注3</sup>				
				要件定義	設計～統合(結合)テスト	ユーザー総合テスト	初期フォロー	その他 <sup>注6</sup>
工期 <sup>注4</sup>	工期	計画	月	月	月	月	月	月
		実績	月	月	月	月	月	月
工数 <sup>注4</sup>	情報システム部門 開発工数 <sup>注5</sup>	計画	人月	人月	人月	人月	人月	人月
		実績	人月	人月	人月	人月	人月	人月
	ベンダー(情報子会社含む) 開発工数 <sup>注5</sup>	計画	人月	人月	人月	人月	人月	人月
		実績	人月	人月	人月	人月	人月	人月
	管理工数 <sup>注5</sup>	計画	人月	人月	人月	人月	人月	人月
		実績	人月	人月	人月	人月	人月	人月
	合計工数 <sup>注5</sup>	計画	人月	人月	人月	人月	人月	人月
		実績	人月	人月	人月	人月	人月	人月
コスト	総費用 <sup>注7</sup>	計画	万円	万円	万円	万円	万円	
		実績	万円	万円	万円	万円	万円	
	総費用のうち、外注コスト	計画	万円	万円	万円	万円	万円	
		実績	万円	万円	万円	万円	万円	
	総費用のうち、 業務パッケージコスト	計画	万円	万円	万円	万円	万円	
		実績	万円	万円	万円	万円	万円	

注 3:各フェーズの内容に関しては、表 1(調査票でのフェーズの呼称と SLCP との対応表)をご参照ください。

注 4: 工期／工数

プロジェクト合計工期をご記入ください。工程の途中で中断があった場合には中断期間を除いてご記入ください。  
フェーズ別詳細工期がわからない場合はプロジェクト全体工期のみ記述してください。  
その場合で要件定義フェーズを実施しなかったプロジェクトについては、フェーズ別詳細工期の要件定義欄に0(ゼロ)とご記入ください。  
工期は月数、工数は人月で共に小数点第一位までご記入ください。

注 5: 開発工数／管理工数／その他実績工数

開発工数は開発SE／PGや開発チーム内の業務設計者等の工数をご記入ください。工数には、システム開発に関連する全ての作業の工数をご記入ください。  
(関連システムへの対応、移行作業、インフラ設計・構築作業等も含みます。／発注側の工数だけでなく、外注の工数も含みます。)  
管理工数はプロジェクトマネージャー、労務管理スタッフ、進捗管理スタッフ、プロジェクトマネジメントオフィス(PMO)等の事務スタッフの工数をご記入ください。  
合計工数は、「情報システム部門開発工数」+「ベンダー開発工数」+「管理工数」をご記入ください。

注 6: 工数／工期がフェーズ別に、振り分けることが不可能な場合は、その他にご記入ください。

注 7: 総費用は、ソフトウェア開発に係わる発注側の人件費・外注費、業務パッケージのコストをご回答ください。(自社内のハードウェア、ネットワーク等の費用および環境構築費用は除く)

表 1：調査票でのフェーズの呼称と SLCP との対応表

2018 年版呼称	SLCP プロセス/アクティビティ	SLCP の定義
企画段階		【SLCP 定義にない本調査独自アクティビティ】投資申請、承認する前段階のことを示しています。
要件定義	システム計画の立案  システム要求分析 ソフトウェア要求分析	企画者は、システム計画の基本要件の確認を行い、実現可能性の検討、スケジュール作成、システム選定方針の策定、プロジェクト推進体制の策定、システム移行やシステム運用・保守に対する基本方針の明確化、環境整備・教育訓練・品質に対する基本方針の明確化を行い、計画を作成・承認を受ける。 開発者は、品質特性仕様を含めて、ソフトウェア要求事項を確立し文書化する。また、設定した基準を考慮して、ソフトウェアの要求事項を評価し文書化。さらに、共同レビューを行い、要求事項に関する基準線を確立する。
設計から統合（結合）テスト	システム方式設計 ソフトウェア方式設計	開発者は、ソフトウェア品目に対する要求事項をソフトウェア方式に変換する。最上位レベルのソフトウェア構造、コンポーネント、データベースの最上位レベルでの設計、利用者文書の暫定版の作成、ソフトウェア結合のための暫定的なテスト要求事項及び予定等を明らかにする。また、共同レビューを実施する。
	ソフトウェア詳細設計  ソフトウェアコード作成及びテスト	開発者は、ソフトウェア品目の各ソフトウェアコンポーネントに対して詳細設計を行う。ソフトウェアコンポーネントは、コーディング、コンパイル及びテストを実施するユニットレベルに詳細化する。また、インターフェイス、データベースの詳細設計、必要に応じて利用者文書を更新、ユニットテストのためのテスト要求事項及び予定を定義する。共同レビューを実施する。 開発者は、ソフトウェアユニット及びデータベースを開発する。また、それらのためのテスト手順及びデータを設定する。さらに、テストを実施し、要求事項を満足させることを確認する。これらに基づいて、必要に応じて利用者文書等の更新を行う。
	ソフトウェア結合 システム結合 ソフトウェア適格性確認テスト システム適格性確認テスト	開発者は、ソフトウェアユニット及びソフトウェアコンポーネントを結合して、ソフトウェア品目にするための計画を作成し、ソフトウェア品目を完成させる。また、結合及びテストを行う。必要に応じて利用者文書等の更新を行う。共同レビューを実施する。 開発者は、ソフトウェア品目の適格性確認要求事項に従って、適格性確認テストを行う。必要に応じて利用者文書等の更新を行う。また、監査を実施する。
ユーザー総合テスト	ソフトウェア導入支援 ソフトウェア受け入れ支援	開発者は、契約の中で指定された実環境にソフトウェア製品を導入するための計画を作成し、導入する。 開発者は、取得者によるソフトウェア製品の受け入れレビュー及びテストを支援する。また、契約で指定するのとおり、取得者に対し初期の継続的な教育訓練及び支援を提供する。
初期フォロー		【SLCP 定義にない本調査独自アクティビティ】リリース後数か月、開発プロジェクト体制がフォローしている時期を示しています
	運用プロセス	ソフトウェア製品の運用及び利用者に対する運用支援を行う。運用者は、このプロセスを管理するために具体化した管理プロセスに従って、運用プロセスの基盤となる環境を確立する、など。

(備考 1) SLCP の定義は、規格のアクティビティを要約したものである

Q3.調査に対するご意見

本調査にて、次年度追加してほしい設問や分析してほしい内容などございましたら、回答欄にご記入ください。

(

)

以上、ご協力ありがとうございました。